

ある男と無花果

小川未明

青空文庫

ある男が、縁日にいって、植木をひやかしているうちに、とうとうなにか買わなければならなくなりました。そして、無花果の鉢植えを買いました。

「いつになったら、実がなるだろう。」

「来年はなりません。」と、植木屋は答えました。しかしその木は、小さくありました。

男は、それを持って帰る途中、夕立にいました。

もう、そのときは、そんな木どころではありません。木などは、どうでもよかったです。友だちの家に頼って、雨のやむまで待つて、帰りには、その無花果の鉢を預けてゆきました。

幾いくつき月も、幾いくとし年もたちましたけれど、男おとこは、忘わすれたものか、友ともだちの家いえへあずけた木きを取りとにゆきませんでした。

しかし、この男おとこは、なかなか欲よく深ふかでありました。五、六年ねんもたつて、ふと、いつか自分じぶんは無花果いちじくの木きを友ともだちのもとにあずけておいたことを思おもい出だしました。さつそく取りとにゆきました。

「あなたが、きつと取りとにおいてなさると思おもつて、大事だいじに育そだてておきました。」と、その家いえの人ひとはいつて、裏庭うらにわに案内あんないしました。

おお 大きな無花果いちじくの木きに、実みがいつぱいなつていたので。男おとこは、驚おどろきました。かつ当惑とうわくしました。しかたがなく、掘ほつて、車くるまに載のせて帰かえりました。

しかし、それは、木きを移うつす時期じきでなかったの、実みもしなびて
しまえば、木きも枯かれてしましました。

けつきよく、男おとこは、ほねおり損ぞんに終おわったわけです。

青空文庫情報

底本：「定本小川未明童話全集 ㊦」講談社

1977（昭和52）年2月10日第1刷発行

1977（昭和52）年C第2刷発行

※表題は底本では、「ある男《おとこ》と無花果《いちじく》」
となっております。

入力：特定非営利活動法人はるかぜ

校正：富田倫生

2012年1月21日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.w.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

ある男と無花果

小川未明

2020年 7月13日 初版

奥付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>